

# この一年「ひと♡ネットワーク」に登場された方たちより

この一年いろんな出会いがありました。多くの人たちへ、夢と勇気と希望と驚きを与えてくださった素晴らしい笑顔。「たのしいまち」の顔として、「ひと♡ネットワーク」に登場してくださった方たちに感謝の気持ちを込めて、登場秘話をご披露いただきました。

- ① 表紙に出られた感想や反響を
- ② 記事への補足、新しい取組や今後の構想など
- ③ 公民館や、『たのしいまち』について一言



**影近 卓大さん**  
(自主活動グループ  
メルティングポット 代表)  
(2019/8・9月号)

①思いもよらない方からも声をかけて頂き、想像していた以上の反響の大きさにびっくりしました。私たちが日々考え、取り組んでいる事的一端をご紹介頂き感謝しています。

②障害児・者が障害を感じずに暮らし続けられる地域を作るように、色々な取り組みを行っています。定期的にイベントも行っておりますので、是非ともご参加くださいませ！

③思いをもって多摩市で活動している方を知ること、一層多摩市への愛着が持てるようになります。今後も公民館自体が、“誰しものが安心できる拠点”として存在し続けることを期待しています。



**三橋 正夫さん**  
(多摩市民・就労者のための  
介護準備研究会 代表)  
(2019/2・3月号)

①市民団体の代表としてインタビューを受けたのは今回が初めてでした。インタビュアーが市民の方でしたので、緊張感もなくリラックスして答える

ことができました。掲載後の関戸公民館との共催セミナーの集客にもつながり、有り難く受け止めています。

②以下のような皆様、是非ご入会ください。交流希望や取材依頼も受け付けております。①自宅での介護、看取りを強く望んでいる多摩市民とそのご家族②父(母)親の介護、看取りと仕事の両立を想定している就労者。詳しくは当団体のHP <https://kaigoken.jimdofree.com/> をご覧ください。

③公民館という存在は、市民団体はもとより市民一人ひとりにとっても貴重な機会提供の場になっています。『たのしいまち』の掲載記事は、切磋琢磨を促してくれます。今後ともよろしく願いいたします。



**野口 峰利さん**  
(3Ks (サンクス) TAMA 代表)  
(2019/10・11月号)

①公民館通信に自分の大写真が出ているのを見て自分自身が驚いたのはもちろんこの広報が地域住民として全住宅に配布されていたことにさらにショックを味わいました。ショックは自分だけだったみたい

で、これを魚に地域コミュニケーションの風が吹いているのを感じます。

②2020年はオリンピックイヤーで盛り上がり始めていますので。高齢でもボランティア活動に参加できるんだということ、通訳活動に磨きを掛け、身の丈に合った活動をしていきたい。

③文章の最後に『「組織は作るまでが大変。作ってしまえばあとは自動的に動いてくれる。」一人一人が輝き、負担の少ない組織作り。』は人のやる気を引き出すもの、そして芯を熱くさせるものと常日頃思っていました。文章を纏めてくださったインタビュアーの力量に感謝。



**川崎 正樹さん**  
(インクルスポーツクラブ多摩  
主宰メンバー)  
(2019/4・5月号)

①回覧板で見たという感想が多かったです。(笑)夏祭りなどで久しぶりに会う知人に好評でした。児童館からボッチャ指導の依頼も受けました。

②公募市民委員として委嘱され、多摩市障がい者差別解消条例の制定に向けた会議に参加することができました。

③令和初の表紙を飾ることができ光栄です。これからも楽しい紙面づくりをお願いします。



**新井 達也さん**  
(TaTsuKids たつきっず 代表)  
(2019/12・2020/1月号)

①TaTsuKids という団体とその活動について広く地域の方々に知っていただける機会をいただき感謝しています。取り上げていただいたことに恥じないような活動を今後も行っていきます。

②今後も積極的に唐木田児童館や多摩市のイベントのお手伝いをさせていただくと同時に、TaTsuKids 主催のイベントもより一層盛り上げていけたらと思います。それらを通してもっともっとTaTsuKids について知っていただくと嬉しいです。

③様々な方が利用する児童館で活動させていただいている身としては、公民館のような地域住民の交流できる場はとても大切だと肌感覚で感じます。



**春田 祐子さん**  
(NPO 法人多摩子ども劇場 理事長)  
(2019/6・7月号)

①近所や職場で、たくさんの方に声をかけていただきました。活動や団体のことを知ってもらうきっかけにもなって、ありがたく感じています。公民館通信の発信力、すごいですね！

②小学校高学年以上の子供達達の居場所作り、仲間作りのための企画をしました。「カードゲーム・ボードゲームであそぼう！」です。SNS からちょっと離れて、あえてアナログのゲームを異年齢で楽しむ会です。市内で、学区域を超えた友達関係を作る機会になれば、とも思っています。3月まではパルテノン多摩との共催事業として、パルテノン多摩大ホールのパワイエを会場にしてひと月に一度、開催しています。

③協働事業や共催事業でとてもお世話になっている公民館さんと、これからも良い関係でつながっていければと思っています。『たのしいまち』これからも応援しています！